

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎6550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

いろいろなことに役立ててください 体験学習の売上金を社協へ寄付



▲左から北落佳奈さん、清水佑衣さん、田阪董さん、安田会長

2月2日(金)、南比都佐小学校の児童3名が日野町社会福祉協議会(安田会長)を訪れ、善意銀行へ寄付金36,272円を手渡しました。このお金は、2年生と5年生による体験学習で収穫した米3俵(30kgの袋6個分)を、保護者に販売した売上です。

「曾羽松司さんの田んぼを借りて、田植え・稲刈り体験をして、藤田喜久治さんに、もみすり・乾燥してもらいました。どうぞ、いろいろなことに役立ててください」と児童から手紙が読み上げられ、安田会長は「恵まれない方や障害のある方のために使わせてもらいます」と答えられました。

児童たちは、米作りについて「大変だったけれど、楽しかった」と感想を話していました。



▶日野町消防団第3分団の皆さんによる放水



▶松尾1区女性防火クラブの皆さんによる初期消火

「正明寺」を火災から守る!

文化財防火デー消防訓練

文化財を火災、震災などの災害から守るため、毎年1月26日の文化財防火デーを中心として、全国的に文化財防火運動が実施されています。日野町においても、1月28日(日)、大字松尾にあり、国の重要文化財を多数有する正明寺において、防災訓練が行われました。

正明寺住職と檀家の方をはじめ、松尾1区自治会、松尾1区女性防火クラブ、日野町消防団第3分団、日野消防署など総勢約70名の方が訓練に参加されました。

正明寺の「経蔵」と、その中に保存されている「鉄眼版一切経」(初刷禁裏献上本)は、平成17年度に滋賀県指定文化財に指定されました。今回は、これらの新しく指定された文化財を火災から守る訓練も行われ、参加者は経蔵から鉄眼版一切経に見立てた箱を運び出されました。

もしものとき、文化財を守るためには、地域の誰もが消防活動ができるようになることが大切です。

この訓練を通じて、地域全体で、連携して文化財を守るという意識が高まりました。





まちのわだい

みんなでフッハッハ！

「じゃんけんポン！」開催

2月10日(土)、南比都佐公民館で今年度5回目の「じゃんけんポン！」が行われました。これは、平成7年から始まったもので、障害のある子どもたちや中学生・高校生のリーダー、大人のボランティアスタッフなど、町内に住む仲間が集まり、ゲームなどをして楽しく交流されています。

今回のテーマは、「遊びの玉手箱」。今年の干支である猪の福笑いリレーをみんなで協力したり、鬼の人形に豆まきをして遊びました。また、ポンポンシアターの皆さんによる人形劇「3匹の子ぶた」などもあり、たくさん楽しい催しに会場には笑い声や歓声が沸き起こり、おおいに盛り上がりました。



▲人形劇「3匹の子ぶた」を観賞する参加の子どもたち

カムサハムニダ！

「韓国語講座」開催

今年も国際親善協会主催の韓国語講座が始まりました。これは、日野町が姉妹都市提携を結んでいる韓国・恩山(えんざん)面と、より一層交流を深めようと馬場(まば)平三郎(へいさぶろう)さんを講師にお迎えし、毎年行われているものです。1月22日(月)から3月19日(月)までの期間中の全5回行われます。

受講生は、幅広い年齢層の方がおられ、韓国に行ったことがある方や、韓国スターのファンだとおっしゃる方が、「もっと韓国の人と話せたら」という思いで学ばれています。

学んだ韓国語を積極的に使い、韓国の方とふれあってくださいね。

じょうずにできたやんか。

鎌掛地区で「昔遊びの集い」開催

2月10日(土)、鎌掛公民館および森林交流センターにおいて、子ども会指導会と地区社会福祉協議会の共催により「昔遊びの集い」が行われ、小学生や一人暮らしのお年寄り、福祉協力員、子ども会指導会役員など総勢95名が参加されました。

子どもたちは、竹とんぼや竹馬、猿の木登り、お手玉などの昔懐かしいおもちゃを、お年寄りに教えてもらい、一緒に作って遊び、楽しい時間を過ごされました。

竹馬に挑戦した子どもたちからは、「難しいけれど、乗れると面白い」「少しだけ乗れた。昔はみんなやっていたからスゴイ」という声が聞かれました。



▶先生の発音に耳を傾け、熱心にメモをとる受講生たち



▶お年寄りの方に教えてもらって、竹とんぼを作る子どもたち